

ともに



平成 30 年 1 月 23 日 発行 《文責》 校長:濱崎 豊治 副校長:北村征一郎

小学部「授業参観」への御出席ありがとうございました

19日(金)は、御忙しい中に、また寒い中に御参観いただき感謝申し上げます。インフルエンザのため、4年生の学年閉鎖と2分の1成人式の延期は残念でしたが、元気な子ども達の様子を御覧いただけたのではないのでしょうか。給食試食会も開催したところ、16名の保護者の参加がありました。3学期は、とても短い学期ですので、これからも学校と家庭が連携をとりながら、お子さんの成長を支えていきたいと思います。



【前 期】
心をこめてあいさつをしよう

【中・後期】
新たな年を迎え、目標を見つけよう
心を込めたあいさつや言葉遣いをしよう

①月の生活目標(重点目標)
「あやとり・リトबंधか」

「小城市学力向上フォーラム」が開催されました

13日(土)に小城市の教育委員会とPTA連絡協議会主催の「小城市学力向上フォーラム～ここがポイント!生きる力(学力)を育てる家庭・学校・地域の役割と連携～」がドゥイング三日月において開催されました。その中で特に印象に残ったことは・・・

- 青山学院大学の原監督が強さの秘密を聞かれ、監督夫婦と学生(子ども)が寮で寝食を共にしていること、無駄なことや無意味なことに見えがちな学生(子ども)との日常の関わりやふれあい、観察、声かけや会話が、実は学生(子ども)の成長には大きいこと、このような日々の地味で地道な関係性や取組が学生(子ども)を育てていく上で極めて大切であること

- 現在の小城市の中学生がスマホや携帯電話、ゲームに費やす年間の時間(平均)は、小学生が学校で勉強する年間の授業時間とほぼ同じ時間になってしまっていること、スマホ等の使用時間の多さが大切な家族とのふれあいや家庭学習の時間を奪ってしまっていること
 - 子どもの健全育成、教育問題の解決のためには、家庭・学校・地域が、今まで以上にそれぞれの役割に責任を持ち、地道に子どもに向き合う必要があること、そして、もっともつと家庭・学校・地域のつながりや関わり(連携)を強くして対処していかなければ問題は解決していかないこと 等
- 市や学校、保護者、地域の方々が、共通理解を深めるよき機会となったと同時に、「ともに」危機感を高め、「ともに」力を合わせてやっていかなければならない必要性を強く感じたフォーラムでした。御参加いただいた保護者の皆様もありがとうございました。

「学校保健安全委員会」を開催しました

平成29年度 学校保健安全委員会

1. 開会
2. 学校長挨拶
3. 自己紹介
4. 協議
 - * 保健・給食関係の総括及び来年度にむけて
 - * 体力テストについて
 - * 家庭教育指針について
 - * 小学部原野学校医から 中学部百武学校医から
 - * 副島学校歯科医から
 - * 福田学校薬剤師から
 - * P T Aの方から
5. 質疑応答
6. その他の学校保健について(情報交換)
7. 閉会

左の内容で年1回の委員会を15日(月)に開催しました。御出席いただいた方々からは、貴重な御意見、御感想をいただきありがとうございました。本委員会に限らず、これからも「チーム学校」として、子ども達のため、学校・家庭・地域・専門家・関係機関等のつながりを強めて、「ともに」取り組んでいきたいと思っております。



1年生が地域ボランティアさんと「昔遊び」

16日(火)に11名のボランティアの皆様と1年生が交流し、昔の遊び(こま・竹馬・竹とんぼ・けん玉・お手玉・あやとり・ヨーヨー・羽つき・かるた・だるま落とし)を丁寧に教えていただきました。おかげ様でとても楽しい時間となりました。ありがとうございました。

インフルエンザ情報②(本日現在) また寒くなります。御注意を!

- 小学部 . . . 8名 (2年生1名A型、4年生2名B型、5年生1名A型、6年生4名B型)
- 中学部 . . . 6名 (7年生5名B型、9年生1名A型)

